

## 議題(1)第2次高松市創造都市推進ビジョンにおける取組について

通番	主な御意見など	市の考え方
1	屋島の坂を利用したヒルクライムなどの大会をやっていたら面白いかと思う。	<b>【観光交流課観光エリア振興室】</b> 標高二百九十二メートルの屋島山上へと続く、延長約三・七キロメートルの屋島スカイウェイは、瀬戸内海の多島美や五剣山、源平合戦の古戦場などを見渡せる眺望の優れた道路であり、サイクリングロードやウォーキングコースとしての魅力もあるものと思う。今後、利用者のニーズを把握するとともに、安全面での課題等も踏まえながら、観光振興における屋島スカイウェイの活用策について検討してまいりたい。
2	中長期から見ると市役所職員の創造性を引き出す又は人材育成というものが、創造都市の政策の中で最も重要ではないかと考えている。創造的に動ける人材を増やすため、現在の職員研修にもう少し創造都市的なクリエイティブな発想で、職員研修を拡充できないか。	<b>【創造都市推進局】</b> 分野横断的に全市を挙げて創造都市を推進していく観点からも、クリエイティブな考え方や行動を促す研修を行うことは、人材育成や創造都市の浸透にもつながることから、さらなる御助言を賜りながら、職員研修の充実に向けた検討を進めてまいりたい。
3	色々な予算がつけられている政策事項なので、高松市の庁内を含めて、市役所職員が「創造都市とは一体こういうことではないか」という仮説や政策を考える、又は創造都市推進に関与している職員が「創造都市的な動きをするのであれば、この政策はこんな落とし方をしたいよね」というような議論ができるような動きが、本当の創造都市の動きなのではないか。もっと参謀室的な動きで、どうやって人を巻き込んで、どういう組織を巻き込んでいきながら、どういう手を打っていき、この40数万人の地域の中で、「創造都市高松を一緒に作っていきましょう」というムーブメントをどのように作っていくのかというようなシナリオができるようにしてほしい。	<b>【創造都市推進局】</b> 本市の創造都市推進については、「第2次高松市創造都市推進ビジョン」において、「創造都市の推進のためには、行政だけでなく、民間においても強力な推進エンジンが求められる。高松市創造都市推進審議会及び懇談会の委員等を中心にして、創造的なアプローチによりプロジェクトに取り組む市民団体の創出や育成に努め」ることとしている。今後、本審議会での議論も参考にしながら、次期ビジョンの中で機運醸成に向けた取組をお示しできるように検討を重ねてまいりたい。
4	多面的に取り組んでいるのはいいが、金沢市や横浜市、神戸市の事例を鑑みても、「高松の創造都市の拠点施設や拠点的な事業はなにか」という点を意識し、もう少しメリハリをつけるというところが、次の段階への課題として必要ではないか。	<b>【創造都市推進局】</b> 本市における創造都市の拠点施設や拠点的な事業については、ユネスコ創造都市ネットワークへの将来的な加盟申請の可能性も踏まえる観点からも、市民のコンセンサスにも留意しながら、引き続き、今後の課題として検討を重ねてまいりたい。
5	欧米の人たちが持続的にずっと来るというのは、文化とかスピリチュアルの部分であり、日本の文化の奥深いところを知ろうと思うことに惹きつけられるようである。国が準備している新しい文化観光振興というのが、文化を奥深く知るための観光というふうに定義を変えてきていることも踏まえて、もう少し深みを持たせていけると良いのではないか。	<b>【観光交流課】</b> 御指摘のとおり、文化観光推進法が制定され、文化についての理解を深める機会の拡大及びこれによる国内外からの来訪促進が重視されているところであることから、国や県の動向を踏まえ、文化観光拠点施設の指定管理者、民間事業者等との連携を図りながら、文化観光拠点施設や本市独自の歴史文化を活用した観光振興に取り組んでまいりたい。

通番	主な御意見など	市の考え方
6	<p>観光地というのは、そこにいる人が分からないところに意外と特徴を見出すということがあるので、我々が当たり前前に思っていることが、意外と海外の人から見ると「こんな素晴らしい」ということがあるので、意見を聴く際に、困ったこととか問題点だけを聞くのではなくて、良かったこと、他になかったことにも着目することも検討されたらどうか。</p>	<p><b>【観光交流課】</b> 御指摘のとおり、地域の在住者ではなく地域への来訪者によって、地域の魅力・良さ等が発見される事例があることから、本市滞在中に感じた良かった点や他に無いと感じた点についての意見等を参考にしながら、本市の観光振興について検討してまいりたい。</p>
7	<p>せっかく、そこにお金を投入して拠点を作るのであれば、ヒルクライムやロードレースなどの大会があれば、高松から出発して塩江までも行けるので、庵治も行けるし屋島山上も行くことができる。また、サイクルロードを作るぐらいは、現在、取り組まれているかと思うが、その行き方やルート等々を検討いただいて、塩江、庵治、屋島等ここだったらコースとしてルートがいいのではないかといいところを作っていたら、広げていただいたら、自転車を持って高松市内を周遊していただけるのではないか。</p>	<p><b>【観光交流課】</b> 香川県観光協会と連携して「KAGAWA Cycling Map」を作成し、県域で周遊する海岸線ルートや、地域ルートとして塩江、庵治、屋島を周遊する高松ルートを紹介しているところである。併せて、屋島、庵治ではオプションルートも設定している。また、本市観光サイト「エクスペリエンス高松」においては、新たに1泊2日で海・山・川を満喫するサイクリングコースの記事を公開しており、さらに屋島の観光情報サイト「all YASHIMA」や、塩江の観光情報サイト「しおのえネット」においても、地域のお勧めのサイクリングコースを紹介している。今後ともサイクリングに関する情報発信の充実を図ってまいりたい。</p>
8	<p>単身赴任で来日している外国人労働者を家族ぐるみで迎えるとしたら、小さい子どもが教育を受けられることが、とても大事だと思う。例えば、空いた小学校があった場合、外国人同士がコミュニティを作れる教育の場というのを作ったら、その家族たちにとって安心できるのではないか。</p>	<p><b>【観光交流課都市交流室】</b> (公財)高松市国際交流協会では、外国人住民を対象に、「日本語会話クラブ」を開催している。家族で参加する外国人もおり、生きた日本語を学ぶ場であるだけでなく、外国人同士のコミュニケーションの場にもなっている。今後も、より多くの外国人住民に参加いただけるよう、周知を行っていきたい。</p> <p><b>【教育局学校教育課】</b> 市立小・中学校に編入学した帰国児童生徒や外国人児童生徒に対する学習や生活の指導援助を行う指導者派遣事業「日本語指導」を実施している。</p>
9	<p>ユネスコ創造都市ネットワークにおいても、文化政策の面からもSDGsに訴求するということがテーマになっている。SDGsの17の目標の中で、特に11番目の目標が都市に焦点を当てた目標になっているので、11番目の目標というものを高松の創造都市計画の中にも意識的にも取り組んでいただきたい。</p>	<p><b>【創造都市推進局】</b> SDGsについては、前回審議会においても回答させていただいたとおり、今年3月に策定した本市総合計画の実施計画である「第3期まちづくり戦略計画」や「第2期たかまつ創生総合戦略」において、各計画に基づく施策や事業が、SDGsの17の目標のうち、どの目標に貢献しているかを整理して表示しており、今回の審議会資料において、両計画との整合性を図りながら、創造都市推進ビジョンに掲載される各取組事業が、どの目標に貢献しているのかを表記させていただいている。今後の創造都市推進に当たっては、現況を踏まえながら、御指摘のとおり、目標11への貢献を意識しながら取り組んでいきたい。本審議会においても、具体的な取組事例や改善点等について御提案をいただきたい。</p>